

日本とイギリスの 女性ホームレスの支援システム

2019年3月24日(日) 13:00~17:00

場所: 東洋大学白山キャンパス6号館 6208教室

イギリスでは「ホームレス」の定義が日本よりも広く、DVサバイバーや母子家庭、移民などもそこに多く含まれています。日本では、こうした広い意味でのホームレスの女性の支援には、DV防止法、婦人保護、児童福祉など、異なる制度が活用されている現状があります。こうした女性たちの支援の仕組みには、現在厚生労働省で「困難な問題を抱える女性への支援のあり方に関する検討会」が行われているように、課題があることも明らかになっています。本シンポジウムでは、こうした広い意味でのホームレスの女性に焦点をあて、イギリスと日本における支援システムの現状と、その望ましいあり方について議論します。

講演者

Joanne Bretherton(ヨーク大学主任研究員)
「イギリスの女性ホームレス: サービスの認識と反応」

※通訳が入ります

川原恵子(東洋大学講師)
「東京の女性ホームレス支援の構成」

戒能民江(お茶の水女子大学名誉教授)
「婦人保護事業の課題と女性自立支援法」

司会: 丸山里美(立命館大学准教授)

参加費: 無料

申し込み方法: 資料準備の都合上、下記リンクから事前申込をお願いします。
(事前申込みがなくても参加は可能ですが、資料をご用意できない場合がありますことをご了承下さい)

<https://goo.gl/forms/aD9fe40DDJSPIVTn1>

*本シンポジウムは科研費(16K04191)より助成を受けて実施した研究成果を含みます。
**記入いただいた個人情報については、このシンポジウムの開催のために使用するのみで、開催後は完全に破棄します。このことをご了解の上ご記入をお願いいたします。

